



<https://www.unesco.or.jp/hiroshima/>

わたしの平和宣言

- すべての人の生命を大切にします
- どんな暴力も許しません
- 思いやりの心を持ち、助け合います
- 相手の立場に立って考えます
- かけがえのない地球環境を守ります
- みんなで力を合わせます  
(「わたしの平和宣言」は、ノーベル平和賞受賞者たちが起草した6項目の誓い)



祝辞 松井一實市長(代読)



賞状と副賞のトロフィー



第 27 回広島ユネスコ活動奨励賞

授 賞 式 (2025・2・8)

学校部門 4 校 社会部門 2 団体に

『新春フェスタ2025』を、2月8日(土)、広島市文化交流会館で開催しました。活動奨励賞授賞式では、主催者挨拶、松井一實市長祝辞、講評・由井義通選考

委員長、6団体への授与・受賞校の報告を。新春コンサートでは山田一彦さんがギター演奏されました。

詳細はHPに(教育部会)

新春フェスタ2025

新春フェスタ



**広島市立似島中学校**  
「ふるさと科」を設け、似島の地域資源(自然・歴史)を活用し体験活動を通して、生徒の主体的に学ぶ力と発信力の育成に注力



**広島市立川内小学校**  
広島菜や漬物づくり(栽培、見学、販売、地域交流など)を通して、郷土・川内の宝について考え、愛着・誇りを育てる活動を展開



**可部山まゆ同好会**  
可部地域に古くから伝わる「山まゆ織り」の復興と継承をめざし、体験学習・作品作りなど、文化伝承の取り組みにつながる活動を推進



**広島市観光ボランティアガイド協会**  
修学旅行生や観光客に、広島史や文化、原爆の実相や平和の大切さについて語り、理解や意識の向上・観光振興に寄与している



**崇徳高等学校(新聞部)**  
原爆で亡くなった生徒・教職員の悲劇を語り継ぎ、繰り返さないの思いに立ち75年間、学校新聞を発行し平和問題などの課題を発信



**広島県立吉田高等学校**  
探究科、アグリビジネス科を設け、生き方や社会に対する課題について解明する方法を探究し、社会に貢献できる生徒の育成に尽力

新春フェスタ

ギター演奏

奏者 山田一彦さん

『新春コンサート』では、ギタリストの山田一彦さん（日



本ギターコンクール審査員)が演奏してくださいました。この日、使用されたギターは、世界に154本しかないフランスの銘器ロベール・ブーシェで、150番とのこと。その由緒あるギターの音色で、「アルハンブラ宮殿の思い出」「捧げる言葉」「プレリユード No.1.31」など、全6

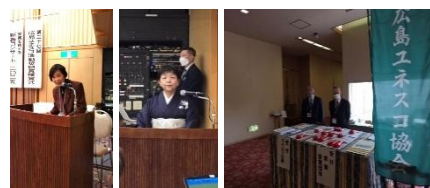
コンサート

広島の地歴を次世代につなぐ

青年プロジェクト

広島ユネスコ協会活動50年を経過した機会に、2024年度から若手会員を増やすための取り組みを始めています。「青壮年対象事業推進プロジェクト」に有志役員等が参加し、アイデアを出し合っている。

ます。その一つを先行実施事業として、3月1日に試行しました。バウムクーヘンと広島「バウムクーヘンづくりから学ぶ広島の歴史」の行事で、ユネスコ活動の目標に鑑み、



曲を演奏していただきました。☆詳細はHPに（文化部会）

☆詳細はHPに（文化部会）



オンラインで講演するリーパー氏

『高校生国際理解セミナー』

「核戦争にならないことを願っています。核兵器が使われると、あと止めることはできない。文明の終わりです」。国際的危機を乗り越えるには、平和的解決・対話が不可欠と訴えるステイブ・リーパーさん（元広島平和文化センター理事長）は、参加した高校

生に外国語を習得し、世界の人たちと対話できる平和のリーダーに育ててほしいと、26名の高校生に温かく切々と話しかけていただきました。昨年12月に開いた『高校生国際理解セミナー』での、リーパーさんの講演は胸に迫るお話でした。☆詳細はHPに（青少年育成部会）

第187回『ユネスコサロン』

「人生90・健康長寿のひ・み・つ」

貝原益軒の養生訓、講師の徳澤陽子さん（医療法人緑風会 ほうゆう病院管理栄養士・介護支援専門員）



☆詳細はHPに（文化部会）

から、『養生訓』を著した江戸時代の儒学者・貝原益軒の健康長寿の心得などについて、講演いただきました。

広島ユネスコ協会

会長 松岡 盛人

当協会の青年部長時代、故高橋昭博さん（第1回原水禁世界大会で被爆体験証言、元協会副会長、元広島平和記念資料館長）から折に触れ激励を頂戴しました。高橋さんは、著書『ヒロシマひとりからの出発』を発売され、その出版記念パーティー（広島そごう10階大食堂で200人規模）の司会を私にと。

被爆80周年 私の思い

会の終わりに、当時流行った「戦争を知らない子供たち」を、出席者全員が輪になって大合唱しました。

高橋さんから強く影響を受けたことを念頭に、現在進行中の「青壮年対象事業推進プロジェクト」を通じて、次代を担う会員が誕生することを期待しています。ユネスコ憲章の理念は、「核兵器廃絶と戦争のない世界の実現！」でもあることを踏まえ、2025年度も一致協力し、草の根のユネスコ活動に取り組んでまいります。

私が高橋さんより「広島市原爆死没者名簿」の記載依頼を受け24年間6万人以上のお名前を書いていきます。慰霊碑に納められた名簿は昨年8月時点で34万人になります。その慰霊碑に日本や世界から行列を作り深く祈りを捧げている人を見る毎に尊敬します。これから若い人たちに平和のメッセージを発信していただきたいと思えます。

原爆死没者名簿の記載に携わる 中本信子さん（協会理事）

私がユネスコ会員として触発され自覚を持ったのは、ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」という一節でした。被爆当時は3歳で、記憶がないので真相を知るため、記録や体験記・伝承で学びました。原爆は今までの戦争の中で、最も過酷で一瞬にして、広島・長崎の人や物を無差別に焼き尽くし、後、後迄も放射線を出し、多くの人が原爆症で亡くなりました。広島市より「広島市原爆死没者名簿」の記載依頼を受け24年間6万人以上のお名前を書いていきます。慰霊碑に納められた名簿は昨年8月時点で34万人になります。その慰霊碑に日本や世界から行列を作り深く祈りを捧げている人を見る毎に尊敬します。これから若い人たちに平和のメッセージを発信していただきたいと思えます。